

受け継ぐのは、父の想いと職人の技術。 世相に逆行しても守るべきは、想いを繋ぐ信頼関係。—— 広瀬 大三

インテリアヒロセの店長広瀬大三。父はこの道40年以上の大ベテラン、社長の広瀬重夫だ。父は根っからの職人気質で、家では無口、仕事は厳しい、生真面目で裏表が無い分、子ども心に怖い人だった。お小遣いは仕事を手伝って貰っていたので、小さい頃から父の働く姿をずっと見て育った。「怖かった父が、引き渡しの時に施主と一緒に嬉しそうにしている」。その笑顔があまりにも印象的だった。

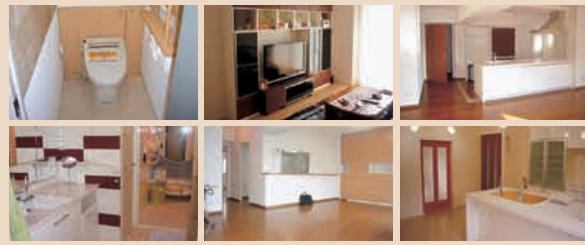
父は「一カ所でも雑だったら全部ダメになる」いつもそう言っていた。ひとつの工事では左官、配管など色々な業種の職人が入る。広瀬は長年築いた職人との信頼関係をとても大事にする。いい仕事は1人ではできないものだ。「安くやってくれるところはいくらでもある。けれど、おやじが選んだ職人さんたちは、本当にいい仕事をしてくれるんですよ」しみじみとそう話しながら、40年という時間の重さを感じている。広瀬が営業とデザインを担当しているのは、そんな想いをたくさんの人に知ってもらいたいから。そして、この技術を活かしたいと思っているからだ。

昔のお客様が、また頼みたいと訪れる。息子が家を直すのだと嬉しそうに話してくれる。友人や親戚を紹介してくれるお客様もいる。再来のお客様は、とても嬉しく思う。実際に長い間住んでみて、インテリアヒロセに頼んで良かったと感じてもらえた証だからだ。新規のお客様はもちろんだが、関わる職人のすべてが、施主の期待に応えようとする。また頼んでもらえたことを意気に感じて、腕を振るう。昔ながらの施主と職

人達の気持ちに通じる仕事がかここには息づいている。

最近は情報量が多くなり、お客様の要求も変わって来た。目が肥えて、こんな家にリフォームしたいというデザイン性が求められて来た。「自分らしく」「暮らし方を考える」そんなライフスタイルを実現したいと思う人が増えてきた。「希望が叶うリフォームをしたい」と広瀬も日々研究している。強みは基本がしっかりしていることだ。壊す技術(これが無いと長持ちする家は造れない)、丁寧な仕事があるから、新しい技術も活かして行ける。一戸建、マンション、部分から、大掛かりなリフォームまで、夢が叶う「暮らしやすい」と感じる仕事は、施主も職人も嬉しい仕事になる。「デザインは息子に任せるよ」広瀬に対する父の信頼を感じる言葉だ。

技術とデザインで家が生き返るリフォームを



INAX LIFA
リフォーム

REFORM

FREE DIAL.0120-650-405

www.lifatama.com

多摩市貝取1-47-6
営業時間/8:30~18:00 定休日/祝日のみ
TEL/042-373-8866

ライフア多摩
株式会社インテリアヒロセ



ライフア多摩 - 広瀬 大三

大学を卒業後、大手インテリア会社に就職。4年間デザインや内装の素材を勉強後、インテリアヒロセに入社。修行中も現在も、とにかく現場を見て回る。14年経っても、体で覚える…。父譲りの現場主義は、机上の設計に活かされている。